令和 4 年 6 月 28 日　メルボルン交流抄

「アデレードから空に旅立つ新人パイロット」

5 月 31 日（火）、アデレードの郊外にあるパラフィールド空港の敷地内に、JAL グループ航空会社の J-AIR 社がパイロット養成所を立ち上げ、その開講式が執り行われるということで私も出席してきました。キラキラと目が輝く 8 人のパイロットの卵がアデレードでの第一期生として訓練を始めました。ここで 1 年間厳しい訓練を行い、小型の飛行機に独りで操縦できるようになるそうです。南オーストラリア州の次官級の政府要人も参加して晴れやかな式典となりました。あいにく当日は州議会の審議日にあたり、マリナスカス南オーストラリア州首相をはじめ関係閣僚の出席は実現しなかったのですが、パイロット訓練生の代表２名が当日の午前中に議会を訪問してマリナスカス州首相を表敬しました。州首相は、今回の養成所立ち上げは南オーストラリア州と日本との素晴らしい結びつきを示すものであろうと絶賛していました。

実は昨年 11 月、開設準備を進める養成所を一足先に訪ねていました。国際線の機長をなさっていた錚々たる教官が訓練プログラムを入念に作成していました。その真剣さは、見学に訪れている我々にまで、ひしひしと伝わってきました。

そして、ここで訓練を受けるパイロット訓練生は、将来機長となって日本国内、そして世界を駆け巡ります。

このような教官やパイロット訓練生に南オーストラリア州を好きになってもらい、その良さが家族、知人、友人、同僚、お客様などに伝われば、南オーストラリア州にとって非常に良い PR になると思います。

今度の労働党州政権の関係閣僚であるベタソン観光大臣、コウツアントニス運輸大臣には、彼らが影の大臣の頃から、南オーストラリア州の PR にとってこの養成所の立ち上げは絶好の機会になると示唆してきました。この度政権についたので、訓練に支障がない範囲内で、教官・パイロット訓練生向けの充実した州内ツアーの企画検討を、お願いしたいものです。

アデレードは日本とほとんど時差はなく Jetlag（時差ぼけ）が生じませんし、日本との間でも通常の勤務時間で連絡を取り合うことができます。このような利点を大いに活用してもらいたいです。

今回のパイロット訓練生 8 人の一年後（パイロットに成長されている姿）が、今から楽しみです。

また、来年訪ねてみたいと思います。